

# 定例調査 ひめしん景況レポートNo.180 (2020年9月期調査)

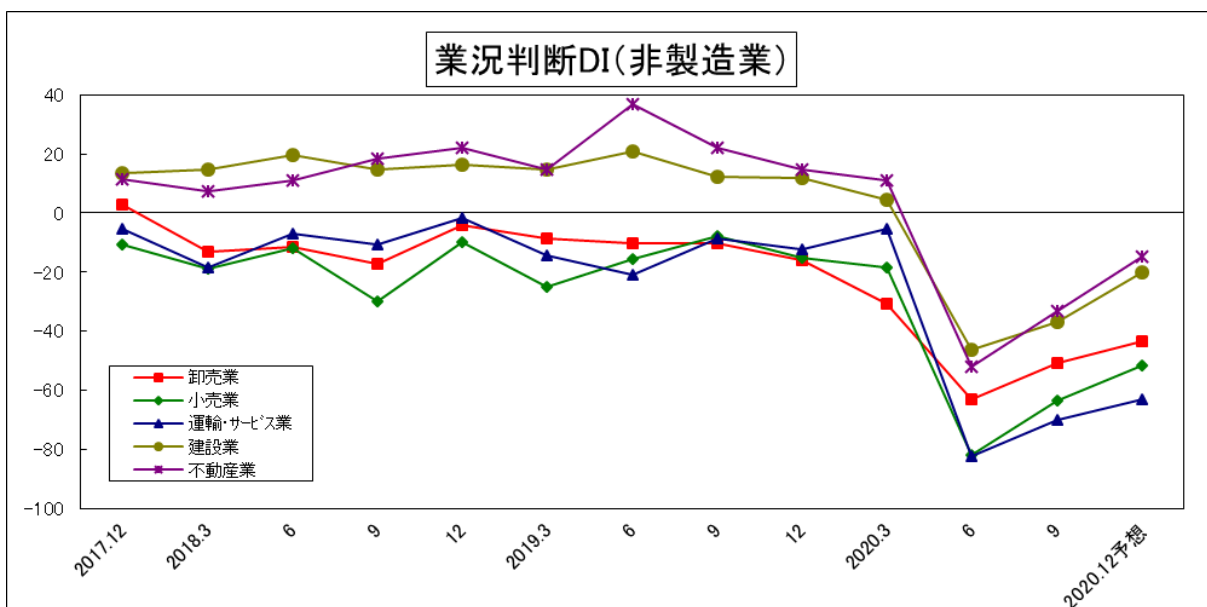
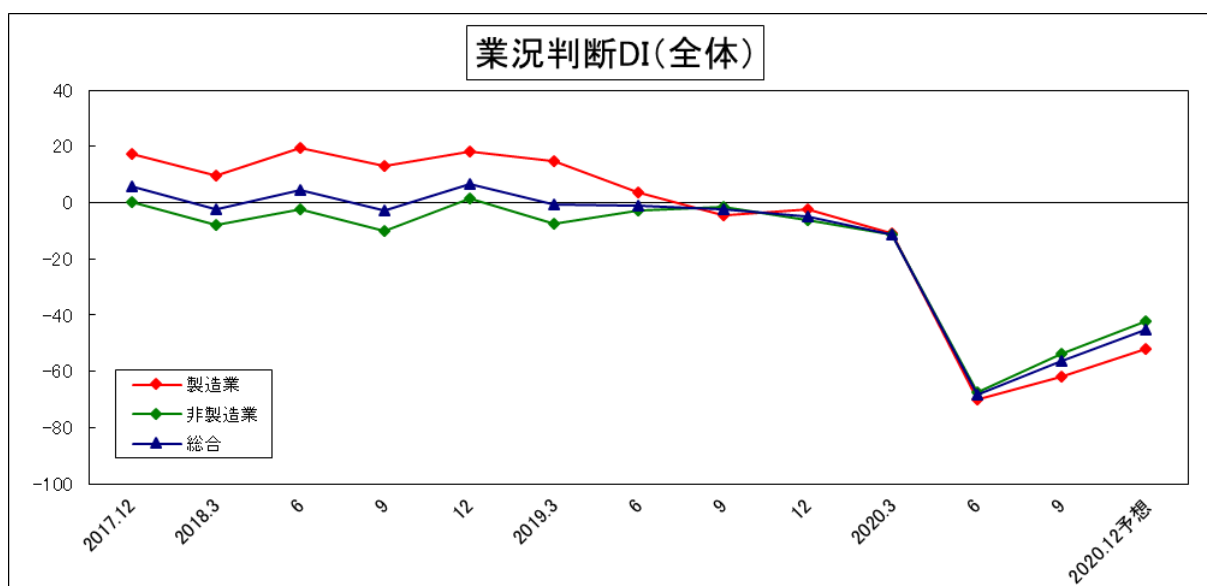
約450社のお客さまを対象に「中小企業景気動向調査」を四半期に1回実施しています。その結果を取りまとめましたのでご覧ください。

- 調査時点・内容 2020年9月上旬・2020年7-9月期実績、2020年10-12月期見通し
- 調査対象 当金庫の取引先 450社 (有効回答数447社：回収率 99.3%)
- 業種別内訳 製造業(136社)、卸売業(69社)、小売業(93社)、運輸・サービス業(57社)、建設業(65社)、不動産業(27社)
- 分析方法 DIによる分析方法を採用 DI = 「増加(良い)」の割合 - 「減少(悪い)」の割合

## <2020年7-9月期の概況>

### ■業況判断DIの推移

業種	調査時期	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2019/10-12期	2020/1-3期	2020/4-6期	2020/7-9期	2020/10-12期
総合	(447社)	-5 ( ↓ )	-11 ( ↓ )	-68 ( ↓ )	-56 ( ↑ )	-45 ( ↑ )
製造業	(136社)	-2 ( ↑ )	-11 ( ↓ )	-70 ( ↓ )	-62 ( ↑ )	-52 ( ↑ )
非製造業	(311社)	-6 ( ↓ )	-11 ( ↓ )	-68 ( ↓ )	-54 ( ↑ )	-42 ( ↑ )
卸売業	(69社)	-16 ( ↓ )	-31 ( ↓ )	-63 ( ↓ )	-51 ( ↑ )	-43 ( ↑ )
小売業	(93社)	-15 ( ↓ )	-18 ( ↓ )	-82 ( ↓ )	-63 ( ↑ )	-52 ( ↑ )
運輸・サービス業	(57社)	-12 ( ↓ )	-5 ( ↑ )	-82 ( ↓ )	-70 ( ↑ )	-63 ( ↑ )
建設業	(65社)	12 ( → )	5 ( ↓ )	-46 ( ↓ )	-37 ( ↑ )	-20 ( ↑ )
不動産業	(27社)	15 ( ↓ )	11 ( ↓ )	-52 ( ↓ )	-33 ( ↑ )	-15 ( ↑ )



**●総合（447社） 播磨地方の景況感は改善**

- （今期実績） 今期（2020年7-9月期）の全業種総合の業況判断D Iは、前期（2020年4-6月期）▲68から12ポイント改善の▲56となりました。
- （業種別） 製造業は前期比8ポイント改善の▲62となり3四半期ぶりに改善、非製造業は前期比14ポイント改善の▲54となり1年ぶりに改善しました。
- （来期予想） 来期（2020年10-12月期）の予想業況判断D Iは、全業種総合で11ポイント改善の▲45、製造業で10ポイント改善の▲52、非製造業で12ポイント改善の▲42となる見通し。

**○製造業（136社） 3四半期ぶりに改善**

- （今期実績） ▲62（前期比+8pt） （来期予想） ▲52（今期比+10pt）
- （業種別） 20業種中、食料品、建築用金属製品など10業種で改善、金属製品、一般機械器具など6業種で悪化。
- （コメント） コロナ禍で取引先の休業により売上が6割程度に落ち込むも、6月以降は8割程度まで回復。  
（食料品）  
イベント等の自粛で広告、パンフレット等の受注減少。近隣同業者との競争激化。（印刷）

**○卸売業（69社） 7四半期ぶりに改善**

- （今期実績） ▲51（前期比+12pt） （来期予想） ▲43（今期比+8pt）
- （業種別） 9業種中、農畜産物・水産物、飲食料品など6業種で改善、機械器具、建築材料など3業種で悪化。
- （コメント） コロナ禍で中国からの仕入れが困難となったが、現状は問題なく稼働しており売上也回復。  
（機械器具）  
コロナ禍で一時的に在庫不足となるも、外出自粛により自宅にて食事をとる機会が増加し、売上増加傾向。（飲食料品）

**○小売業（93社） 1年ぶりに大幅改善**

- （今期実績） ▲63（前期比+19pt） （来期予想） ▲52（今期比+11pt）
- （業種別） 12業種中、飲食料品、飲食店など8業種で改善、ガソリンで悪化。
- （コメント） コロナの影響でテイクアウト商品の需要があり売上やや増加。（飲食店）  
客足は徐々に戻りつつあるものの、人通りはまだ少なく売上増加は厳しい。（衣服身回品）

**○運輸・サービス業（57社） 2四半期ぶりに改善**

- （今期実績） ▲70（前期比+12pt） （来期予想） ▲63（今期比+7pt）
- （業種別） 7業種中、運輸業、クリーニング・理容・美容など3業種で改善、自動車整備・駐車場、修理業など4業種で横這い。
- （コメント） 学校関係の予約キャンセルが相次ぎ、一時的に売上減少。（旅館宿泊所）  
コロナ禍で貿易が鈍化したのが、内需が活性化し国内物流が増加したため売上増加。（運輸業）

**○建設業（65社） 5四半期ぶりに改善**

- （今期実績） ▲37（前期比+9pt） （来期予想） ▲20（今期比+17pt）
- （業種別） 3業種中、総合工事で改善、職別工事で悪化。
- （コメント） 材料不足等により工事の中断が多かったものの、少しずつ業況回復している。（設備工事）  
戸建、マンション等全般に請負の状況は昨年同程度。しかし、コロナ禍で積極的な営業がきず、売上減少傾向。（総合工事）

**○不動産業（27社） 5四半期ぶりに大幅改善**

- （今期実績） ▲33（前期比+19pt） （来期予想） ▲15（今期比+18pt）
- （業種別） 4業種中、建売・土地売買、貸事務所・土地賃貸など3業種で改善、不動産代理・仲介で悪化。
- （コメント） コロナ禍による地価下落もビジネスチャンスと捉え、営業活動に注力。調達においてもコロナ以前と変わらず順調。（建売・土地売買）  
子育て世代が多い地域では、テレワークや在宅時間が増加したことで住環境を見直す動きがあり、売却案件が増加。（代理・仲介）